

コートダジュール大学
BESIGN The Sustainable Design School 交換留学
月例報告書 (12 月分)

鈴木 梨恵琉

今月の一大イベントはクリスマス！月初めからシークレットサンタ（プレゼント交換）の相手を決めるくじ引きをしました。生徒主催のクリスマスパーティーとクラスメイト同士の合計2つのプレゼントを選ぶことに。仲良い友人のシークレットサンタになれるとは限らないので、好みが分からず大変悩みました。パーティー当日いつもと雰囲気の違い学校と友達。ホットサンテリアを片手に普段、長くは話しにくい他学年の生徒と話し、ダンスやDJの音楽を楽しみそしてサンタからは素敵なプレゼントが…！とても楽しい夜でした。大規模なプレゼント交換は、新たな一面を知れる、そしてコミュニケーションのきっかけも生まれる素敵なイベントでした。



そして今月は世界中がワールドカップでも盛り上がりました。日本代表の活躍も素晴らしかったですが、前回王者のフランスはどんどん勝ち抜き、アルゼンチンとの決勝戦は本当に良い試合でした。モロッコも快進撃を見せ、アフリカ初のベスト4入りを果たしました。W杯を通して気が付いたのですが、フランスにはモロッコ人が多く住んでいるようで、国内ではフランスの試合だけでなくモロッコの試合も同様に盛り上がりません。喜び方も少々派手なので、勝利後に赤い粉末を撒きながら街中を歩くモロッコ人と遭遇し焦って近くの店へ避難。現地の友人や総領事館からも身を守るために家にいるように促され日本との治安の差を感じましたが、良いタイミングでここに居られて嬉しく思いました。決勝でハットトリックを決めたフランスの選手名「エムバペ」。英語の名前をひらがなに置き換えることにハマっているフランス人の友人に送り、逆に発音を直されたのも良い思い出です。

授業スケジュールは固定ではないので、新しい内容の講義が今月もたくさんありました。私達日本人がいることを事前知り JAPAN と刺繍が入ったスカジャンを着てきてくれた先生の授業では「デザイナーはモノの全ての背景を理解する必要がある」と



いった内容で、1日目は考え方やその視点を持つとはどういうことなのか、動画や事例を参考に理解を深めました。実際に iPhone の部品・サービスごとでグループに分かれ、何の素材？何のために？雇用者・生産者・国などを掘り下げ、2日目は6つの机をそれぞれの大陸に見立てて、ヒモを使って可視化するワークショップが行われました。



他には Partnership project で私達のテーマである Human connection について A4 2 枚の紙を使って表現するアクティビティを先生が提案を行いました。1枚はドローイング、もう1枚は立体物。自分が考える Human Connection を表現して、理由などを含めて共有しました。概念を立体にするという唐突のアイデアに少し戸惑いましたが、それぞれの国や背景、経験に基づいて違った作品が生まれるので、自分とのイメージの違いに気がつくこともでき、興味深く思いました。

そして冬休みはフランス国外にも足を伸ばし、4か国の旅に出ました。それぞれの国の住宅や建物を観ながら街を歩くことができ、海外の住宅に興味がある私はとても幸せでした。よく見てみると様々な共通点や特徴が見えてきます。美しく並ぶ住宅も真下に来てみると面白い角度で建っていたりします。昼間の長距離バスの移動も窓から色々な景色が見え、疲れていても目が離せません。訪れる機会が少ない田舎の景色も見ることができ交通費も抑えられます。一石二鳥です。初めてのドミトリー部屋の宿泊には心配な面もありましたが、同じ部屋に泊まる人たちと他愛のない会話をしたり友達になれたり、人との新鮮な出会い方ができ、意外と快適！と楽しむことができました。大晦日は念願だったロンドンのカウントダウンに参加しました。2023年を迎えたビックベンの鐘は花火と歓声で聞こえませんでした。ロンドンアイ（観覧車）と花火のパフォーマンス、その光が映るテムズ川は美しかったです。たくさんのクルーズ船が歓声のように鳴らすそれぞれの汽笛の音、ウクライナカラーの花火パフォーマンスの時に、より大きな歓声が沸いたことが印象的でした。新年の花火は3年ぶりの開催。それを肉眼で見ることができて嬉しかったです。2022年に改めて感謝の気持ちを持ち、新しい年を迎えました。とは言いつつ正月の過ごし方は日本が好きだなと、ゆったりと流れるあの時間が少し恋しくなった年明けでした。

